

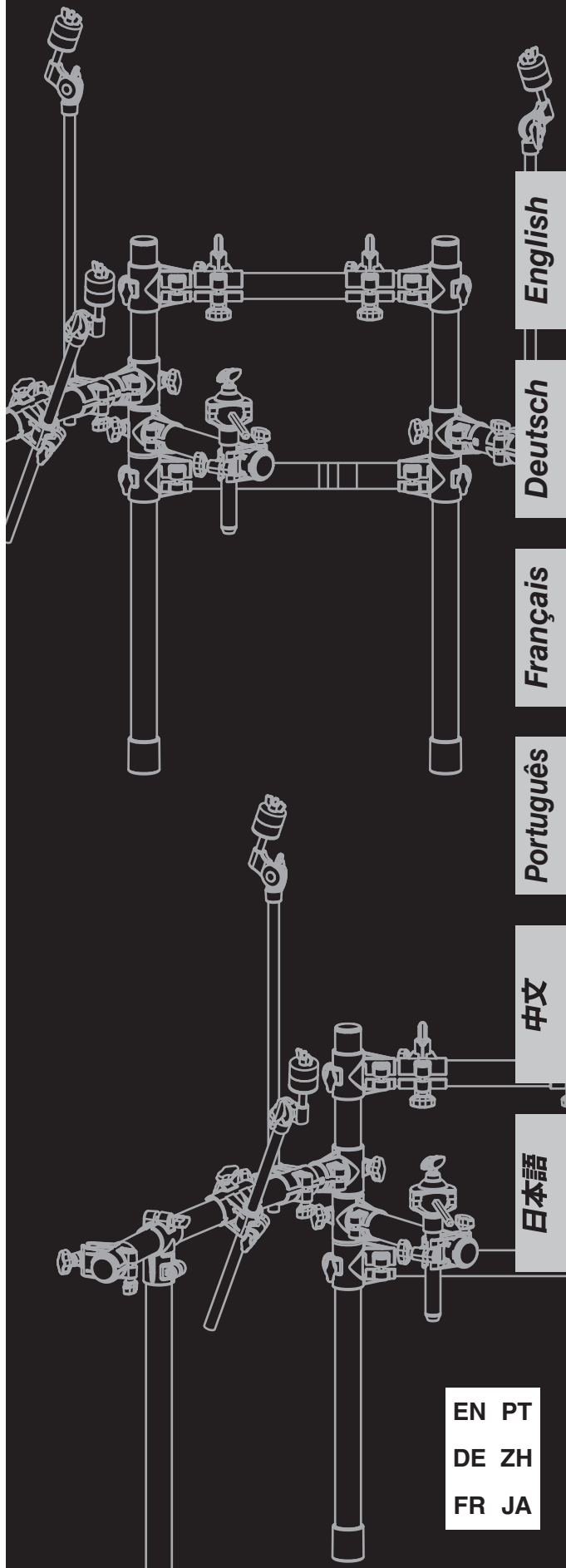


# DTX

drums

ELECTRONIC DRUM RACK  
RACK DE BATTERIE ÉLECTRONIQUE  
电鼓支架  
電子ドラムラック

Owner's Manual  
Benutzerhandbuch  
Mode d'emploi  
Manual do Proprietário  
使用说明书  
取扱説明書



**安全上のご注意** ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- ※ お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示します。



～しないでくださいという「禁止」を示します。



「必ず実行」してくださいという強制を示します。

**警告**

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



本体の近くにろうそくなど火気のあるものを置かないでください。ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険のおそれがある内容を示しています。



本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立ててください。また、定期的にボルトを締め直してください。この製品が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。



けがをするおそれがありますので、小さいお子様が取り扱いされる際は保護者が付き添ってください。



シンバルホルダーやタムホルダーの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取り扱いにはじゅうぶん注意してください。



この製品を設置される際、固定用のナット等はしっかり締め付けてください。また、固定用ナット類をゆるめる際は急激にゆるめないでください。パッドが落下したり、ラック、パイプなどの部品の落下、転倒などにより、けがの原因となります。



この製品を、不安定な場所(水平でない場所、ぐらついている台の上など)に設置しないでください。転倒、落下などにより、けがの原因となります。



この製品を分解したり、改造したりしないでください。けがまたは故障の原因になります。



ラックに腰かけたり踏み台にしないでください。転倒したり壊れたりして、けがの原因となります。



クランプを調節する際、手や指に注意してください。手や指が挟まれてけがをするおそれがあります。



パイプの端面や内面にご注意ください。尖った部分等で手や指にけがをするおそれがあります。



電子ドラムラックには、アコースティックドラムを取り付けしないでください。クランプの破損や、ドラムの落下などで、けがをするおそれがあります。



小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

**注記 (ご使用上の注意)**

- この製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、閉めきった車内など)や、湿気の多い場所(風呂場、雨天の屋外など)での使用、保管はしないでください。変形、変色、故障や性能劣化の原因になります。
- 製品を手入れするときは、ベンジンやシンナー、アルコール類は使用しないでください。製品を変色、変形させるおそれがあります。お手入れの際は、やわらかい布で乾拭きするか、水を含ませて固く絞った布を用いて汚れをふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れを拭き取り、そのあとで水を含ませて固く絞った布を用いて洗剤を拭き取ってください。

**お知らせ**

※ この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

※ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

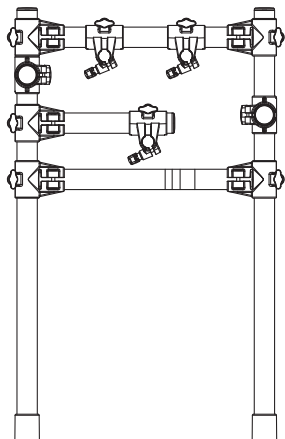
## 目次

安全上のご注意.....	2
同梱品について.....	4
ラックの組み立て.....	6
ホルダーの取り付け.....	10
困ったときは.....	12
仕様.....	12

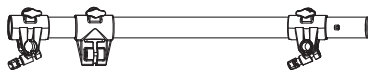
## 同梱品について

梱包箱を開けたら、すべての部品がそろっていることを確認してください。

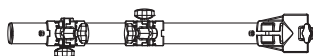
本体×1



左パイプ×1



右パイプ×1



左脚×1



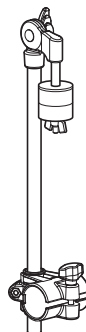
右脚×1



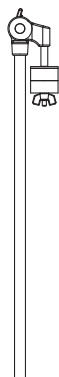
タムホルダー×3



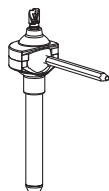
ハイハットホルダー×1



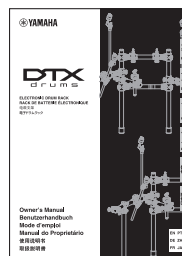
シンバルホルダー×2



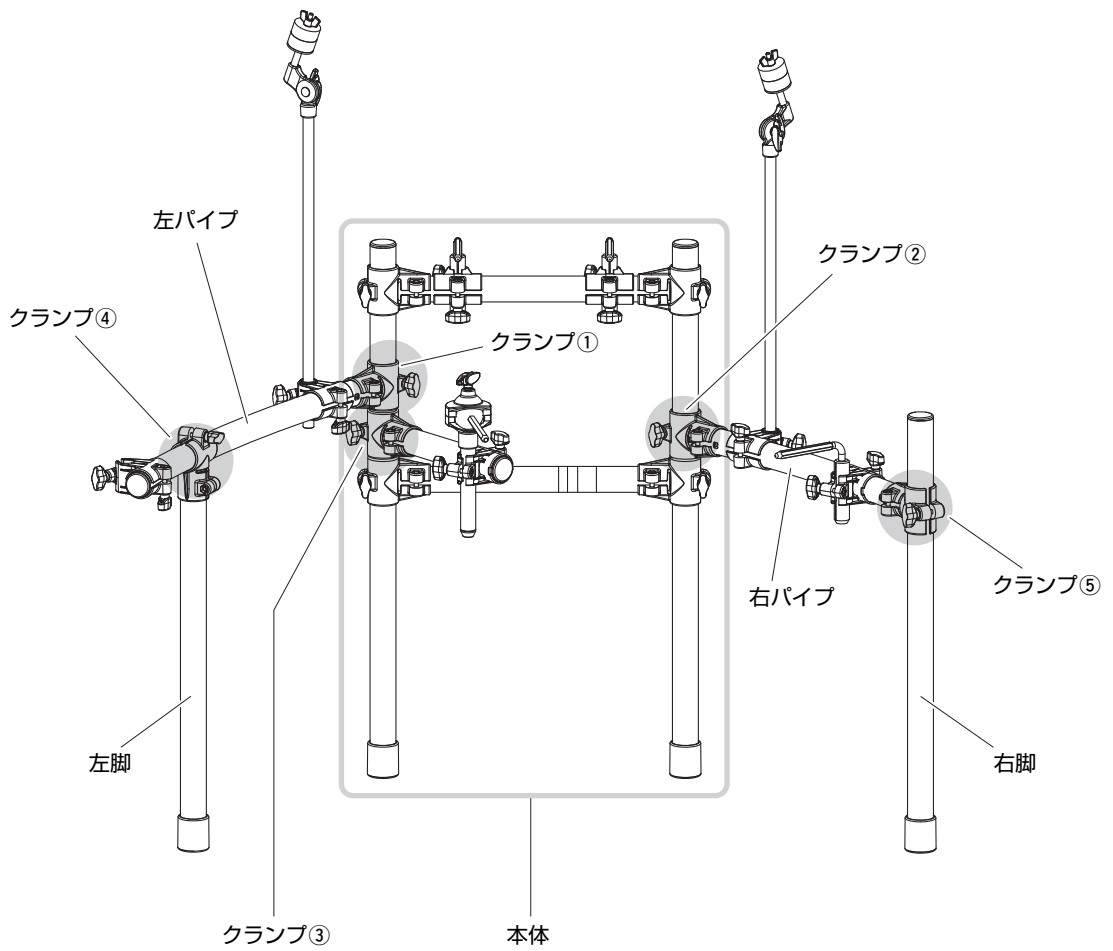
スネア克蘭プロッド×1



取扱説明書(本書)



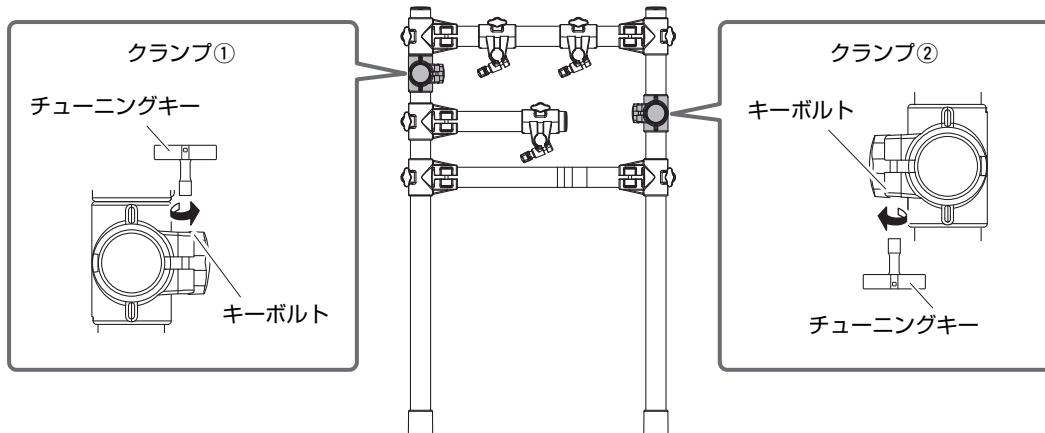
■完成イメージ



ハイハットホルダーの取り付けは、同梱されている組立説明書をお読みください。

## ラックの組み立て

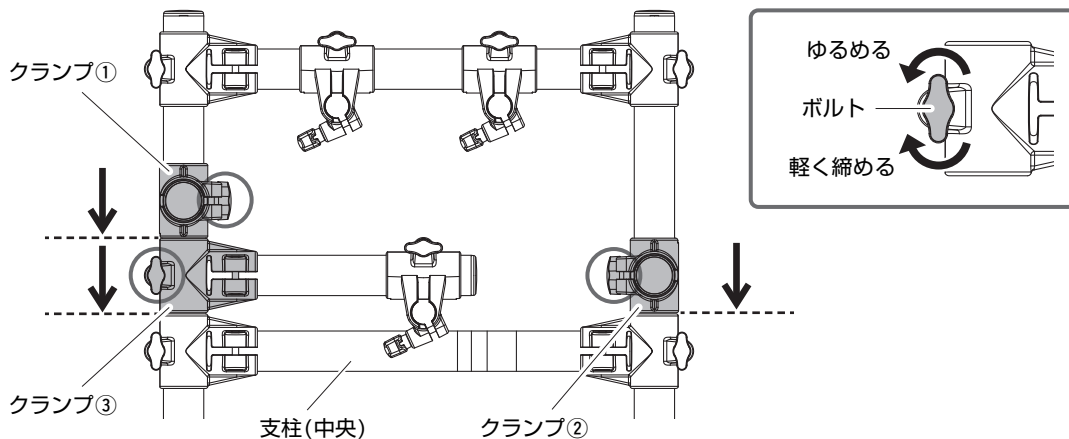
1. 硬くて平らな床に本体を寝かせ、クランプ①、②のキーボルトをチューニングキーでゆるめます。



### NOTE

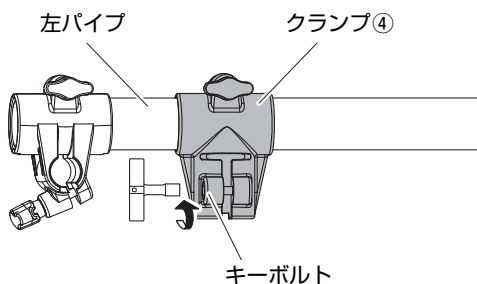
チューニングキーは、パッドセットの梱包箱に入っています。

2. クランプ①、②、③のボルトをゆるめ、支柱(中央)に突き当たるまでクランプ①、②、③を押し下げます。押し下げた後は、ゆるめたボルトを軽く締めておきます。

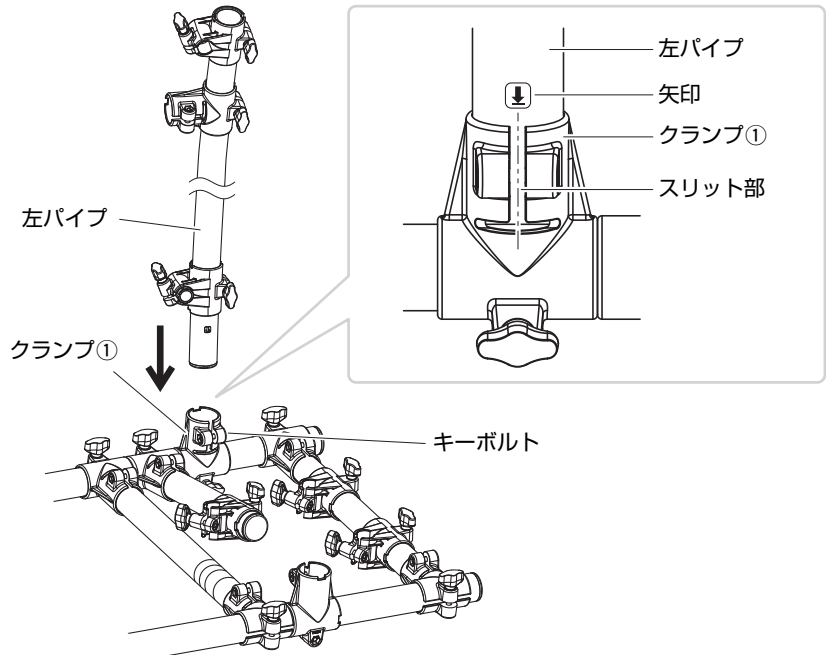


3. 左パイプを用意し、クランプ④のキーボルトをチューニングキーでゆるめます。

左パイプと右パイプはよく似ています。長いほうが左パイプです。間違えないように取り付けてください。

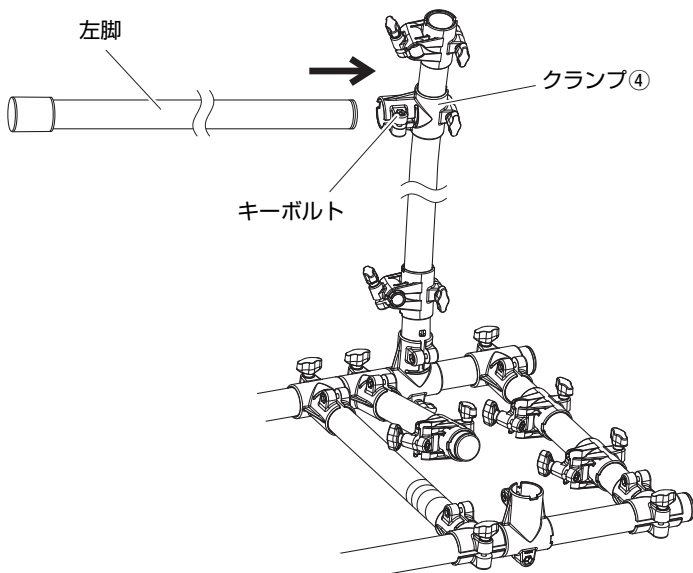


4. 左パイプを本体のクランプ①に根元まで差し込みます。  
差し込む向きは、左パイプに書かれた目印として貼られている矢印(↓)のシールと、クランプ①のスリット部とが一致するようにします。



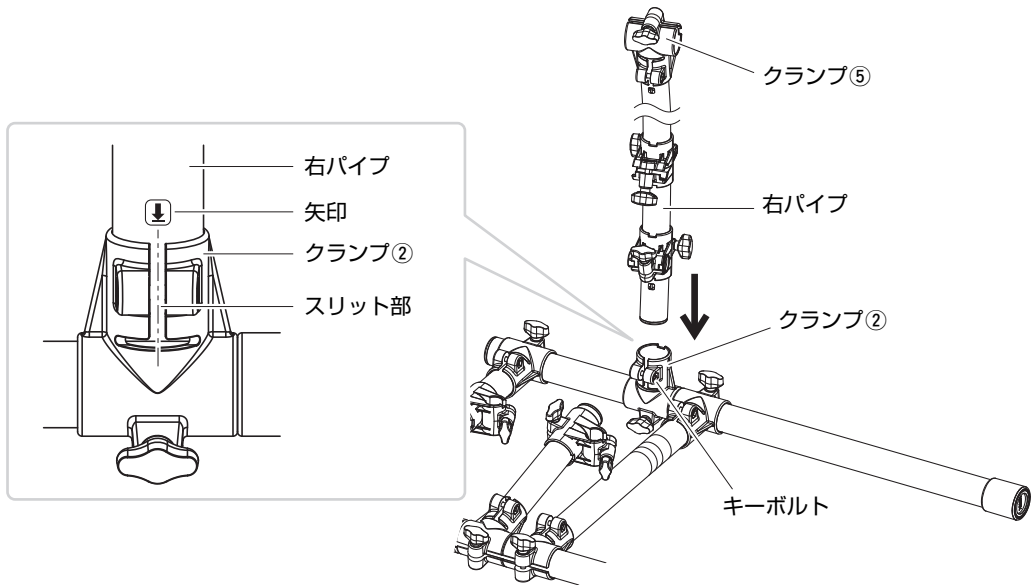
5. クランプ①のキーボルトをチューニングキーでしっかり締めます。  
6. 左脚を用意し、クランプ④の根元まで差し込みます。

左脚と右脚はよく似ています。短いほうが左脚です。間違えないように取り付けてください。

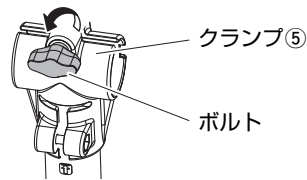


7. クランプ④のキーボルトをチューニングキーでしっかり締めます。

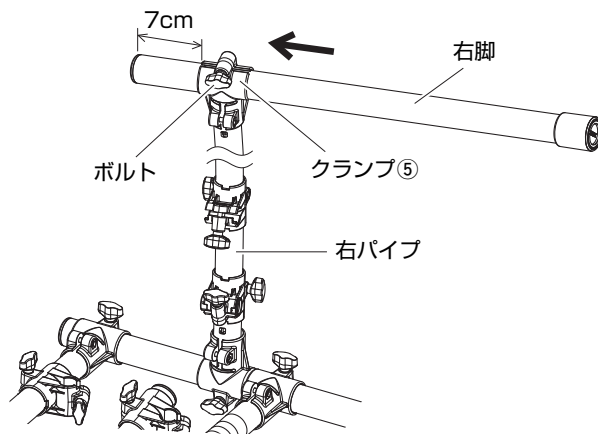
- 8.** 右パイプを用意し、クランプ②の根元まで差し込みます。  
差し込む向きは、右パイプに書かれた目印として貼られている矢印(↓)のシールと、クランプ②のスリット部とが一致するようにします。



- 9.** クランプ②のキーボルトをチューニングキーでしっかり締めます。  
**10.** クランプ⑤のボルトをゆるめます。



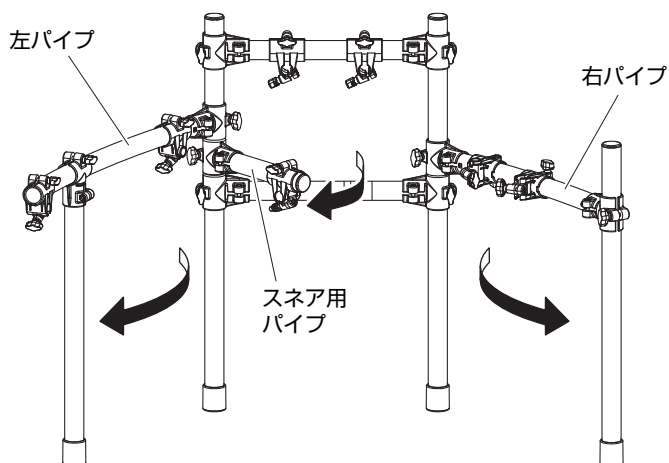
- 11.** 右脚を用意し、クランプ⑤に差し込みます。  
差し込む深さは、右脚の先端部がクランプから7cmほど見える程度です。



- 12.** クランプ⑤のボルトをしっかり締めます。

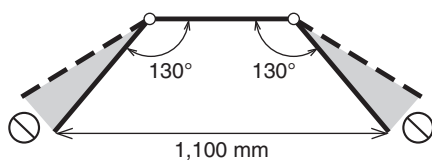


13. 本体を立て、左パイプ、右パイプ、スネア用パイプを開きます。

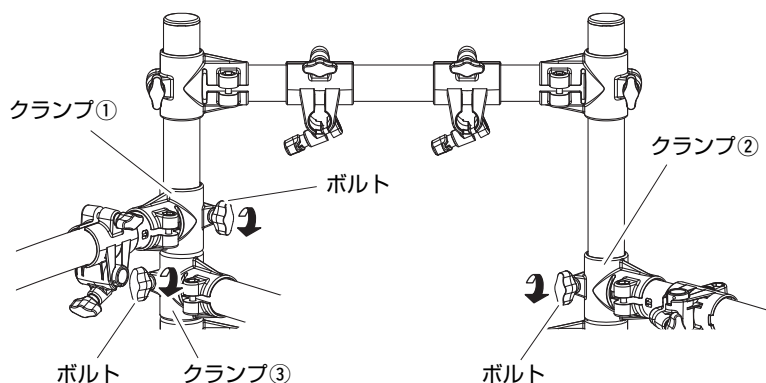


**⚠ 注意**

ラックの左右の脚を下図の角度/寸法よりも広げないでください。左右の脚が広がりすぎると、ラックが転倒してけがの原因となります。



14. クランプ①、②、③のボルトをしっかり締めます。

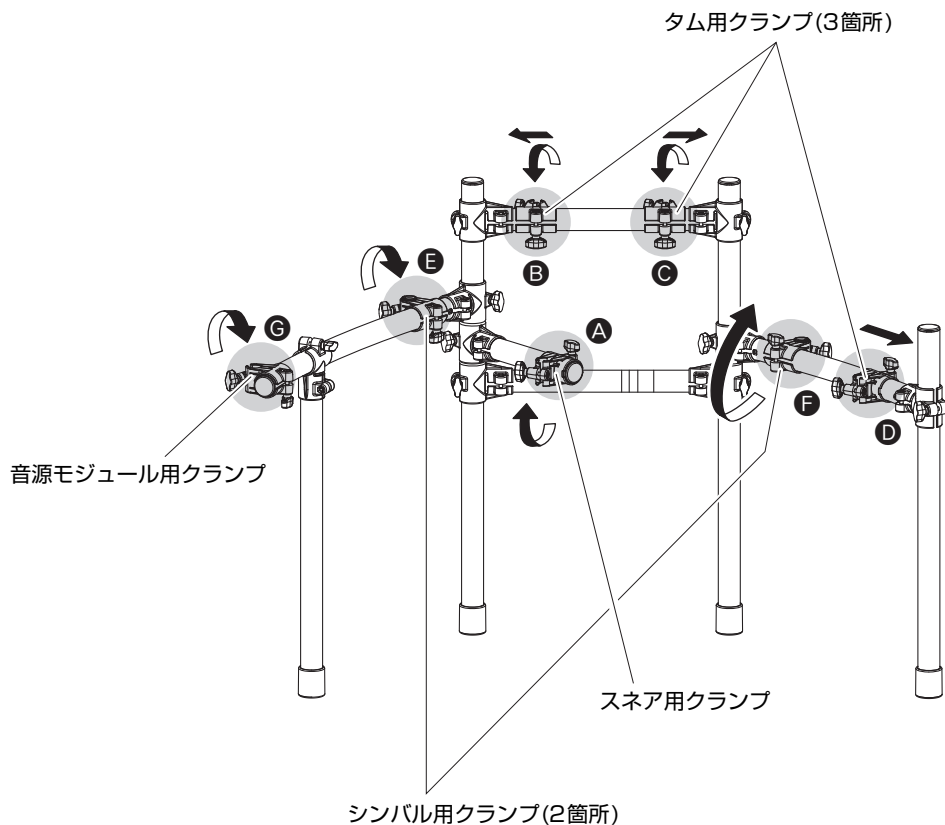


15. すべてのボルトやキーボルトがしっかり締まっているか、再度確認してください。

## ホルダーの取り付け

1. 7箇所のクランプ(A~G)を、ボルトをゆるめて下図の位置になるように回転/移動します。ゆるめたボルトはしっかり締めてクランプを固定します。

- スネア用クランプ: 1箇所(A)
- タム用クランプ: 3箇所(B、C、D)
- シンバル用クランプ: 2箇所(E、F)
- 音源モジュール用クランプ: 1箇所(G)



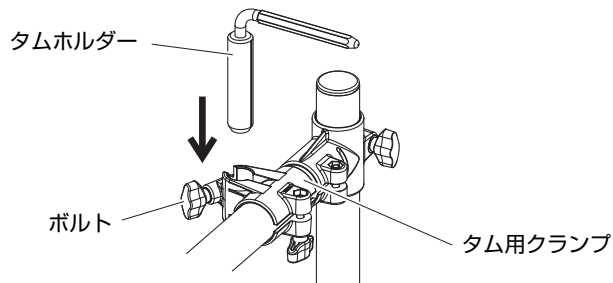
### NOTE

タム用クランプ(D)だけは回転せず、矢印の方向へ移動します。

2. タム用クランプにタムホルダーを取り付けます(3箇所)。

⚠ 注意

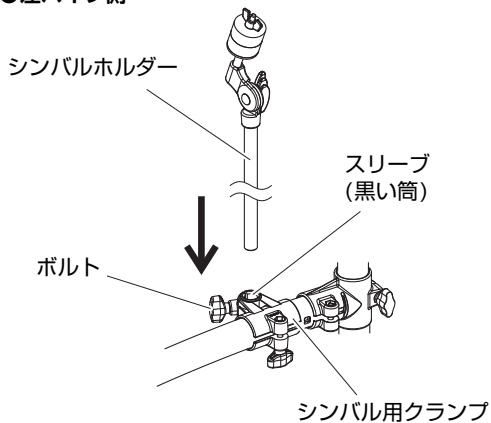
タムホルダーの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取扱には十分注意してください。



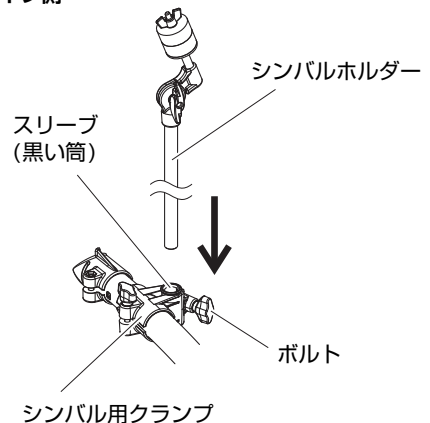
- 2-1. タム用クランプのボルトをゆるめます。
- 2-2. タムホルダーを差し込みます。
- 2-3. タム用クランプのボルトをしっかり締めます。

3. シンバル用クランプにシンバルホルダーを取り付けます(2箇所)。

●左パイプ側



●右パイプ側

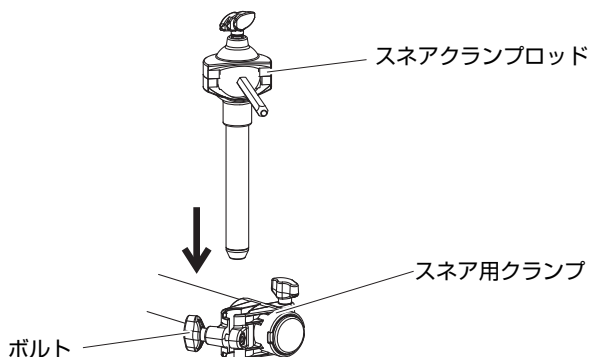


- 3-1. シンバル用クランプのボルトをゆるめます。
- 3-2. シンバルホルダーを差し込みます。
- 3-3. シンバル用クランプのボルトをしっかり締めます。

#### 4. スネア用クランプにスネアクランプロッドを取り付けます。

##### ⚠ 注意

スネアクランプロッドの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取扱には十分注意してください。



- 4-1. スネア用クランプのボルトをゆるめます。
- 4-2. スネアクランプロッドを差し込みます。
- 4-3. スネア用クランプのボルトをしっかり締めます。

以上で電子ドラムラックの組立は完了です！続いてパッド類、音源モジュールを取り付ける場合は、同梱されている組立説明書をお読みください。

### 困ったときは

#### ● ラックを平らな場所に設置しても安定しない

クランプのスリット部と矢印が合っているか確認してください(「ラックの組み立て」の手順4(7ページ)、手順8(8ページ))。合っていない場合は、クランプボルトをゆるめ、水平パイプの矢印にスリット部が合うように調節したのち、クランプボルトを締めて固定します。

### 仕様

- 質量: 8.6 Kg

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

## 雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

上海市静安区新闸路1818号云和大厦2楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<http://www.yamaha.com.cn>

制造商：雅马哈株式会社

制造商地址：日本静冈县滨松市中区中泽町10-1

进口商：雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

进口商地址：上海市静安区新闸路1818号云和大厦2楼

原产地：印度尼西亚

Manual Development Group

©2020 Yamaha Corporation

Published 04/2020

2020年4月 发行

POMA\*- \*\*AO

VDM7650